

2001年 1月 1日～ 2015年 12月 31日に本院の食道・乳腺甲状腺外科 で、  
食道癌手術後の異時性胃癌(胃管癌)と診断された方へ

研究 食道癌手術後の異時性胃癌(胃管癌)に対する全国実態調査の実施について

### 1. 本研究の目的および方法

食道癌の手術では、食道を切除したあとに胃を持ち上げて再建することが一般的です。近年、手術後の胃に胃癌が見つかることが増えていますが、全国的な調査は行われておらず、治療法や治療成績などの実際はよくわかっていません。

日本食道学会が中心となり、食道癌の診療で中心的な役割を果たしている全国の施設からデータを集積して、解析することにより、食道癌手術後の胃癌に対する治療成績の向上を図ります。

### 2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について

日本食道学会の食道外科専門医認定施設 において、2001年 1月 1日～ 2015年 12月 31日の期間に食道癌手術後に胃癌の診断を受けた患者さんの診療録を調査します。手術から胃癌診断までの期間や診断法、治療法、治療成績などを調べます。研究事務局においてデータを集積し、本邦における食道癌手術後胃癌の診療の実際を明らかにします。本研究では情報を扱う場合には個人情報とは無関係の記号を付して管理し、その番号を使用することで、個人が特定できないように匿名化します。匿名化にあたっては対応表を作成しますが、対応表は当院の研究責任者の丹黒章が適切に管理を行い外部への提供は行いません。

### 3. 研究結果の公表について

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないよう措置を行った上で取り扱います。

### 4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ています。

### 5. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査へのご協力の如何にかかわらず、利益や不利益が及ぶことはありません。データの使用をお断りになる場合には本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

### 6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

この研究は、食道学会研究推進委員会が研究事務局を担当しています。

研究責任者:藤 也寸志(九州がんセンター 消化管外科)

問い合わせ先:特定非営利活動法人日本食道学会 事務局

〒130-0012 東京都墨田区太平 2-3-13 廣瀬ビルディング 4階

TEL:03-6456-1339 FAX:03-6658-4233 E-mail:[office@esophagus.jp](mailto:office@esophagus.jp)

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。